

## プレスリリース

〈報道関係者各位〉

令和8年2月4日



# 大阪歴史博物館 特集展示 「たんけん！となりの町工場」 を開催します

大阪歴史博物館では、令和8年(2026)4月8日(水)から6月29日(月)まで、8階特集展示室において、特集展示「たんけん!となりの町工場」を開催します。



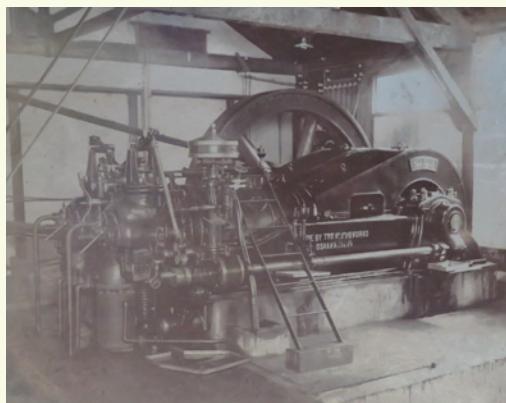
明治初期の大坂は、明治維新の影響によって経済が低迷していましたが、大阪砲兵工廠と造幣寮(現在の造幣局)という二つの官営工場をきっかけに産業都市として発展し、明治期末から繊維産業や機械金属工業が盛んとなりました。大正期から昭和初期にかけて、臨海部や北東部を中心に工場が増加していきますが、多くの工場が数人から数十人規模で独自の製造技術に特化した、町工場でした。町工場が大阪の産業都市としての土台をつくり、その発展を支えてきたといえるでしょう。

本展では、鉄工所、製材所、硝子加工所などの大阪市内ゆかりの町工場に関する大正・昭和期の資料を中心に展示し、現在のわたしたちの暮らしに身近なものづくりの歴史を紹介します。

## 主な展示資料

### 写真展示

#### 硫酸肥料株式会社発動機 大正期 大阪歴史博物館蔵



堺市にあった硫酸肥料株式会社(漂白剤などを製造)に設置されていた発動機を写しています。この発動機は、現在の大阪市大正区にあった鉄工所で製造されました。鉄工所の創業者は広島県の出身で、来阪後、鉄工所で働きながら技術を学びました。

大正期に大阪市内の工場を紹介した書籍の中では「大阪に於ける個人鉄工所の発動機製作者の巨擘」とあり、優れた技術を持つ人物であったことがわかります。

### 写真展示

#### 村田製材所 大正期 大阪歴史博物館蔵

村田製材所を写した一枚です。筏師が貯木場から村田製材所に木材を運搬してきた様子をとらえています。村田製材所は明治期に創業し、現在の大阪市大正区にありました。

大正区には、大正7年(1918)に大阪木材市場土地株式会社が設立され、千島町共同市場(小林町市場)や貯木場が設置されると製材所も軒を連ね、賑わいを見せました。



#### 硝子研磨用砥石

#### 昭和戦後期～平成期 大阪歴史博物館蔵(片岡正行氏寄贈)

東淀川区柴島にあったライト照明(昭和8年に片岡硝子加工所として創業、現在は箕面市)にて切子の製作に用いられた道具です。

切子の製作には、割り出し、粗り、石かけ、磨きなどの工程があります。本資料は石かけという、半透明状(すり硝子状)になった硝子の加工面を円形の砥石部分を回転させて磨き滑らかにする工程で用いられました。

#### 切子藍被せ酒器形ガラス花入 昭和戦前期 大阪歴史博物館蔵(片岡利英氏寄贈)

ライト照明の片岡利英氏(1909～2002)による戦前の作品です。角樽を模し、素地に藍色の硝子をコーティングし、円形などの切子がほどこされています。幕末から明治初期に薩摩藩で誕生した硝子細工である薩摩切子の技法に影響を受けていると考えられ、技術力の高さと先進性が感じられます。

なお、薩摩切子は明治初期に製造法が途絶えたとされますが、昭和50年代から昭和60年代にかけて大阪の切子職人らによって本格的な復刻が行われました。



## -----関連行事-----

### ◆展示解説

【日 時】①令和8年4月29日(水・祝)、②5月30日(土)、③6月28日(日)  
いずれも午後2時から30分程度

【担 当】猪岡叶英(大阪歴史博物館 学芸員)

【会 場】大阪歴史博物館 8階 特集展示室

【参 加 費】無料(ただし入場には常設展示観覧券が必要です)

【参加方法】直接会場へお越し下さい(※事前申込不要)

### ◆わくわく子ども教室「まちこうばクイズ～クロスワードパズルにちょうせん～」

展示のミニ解説(20分程度)を行った後、クロスワードパズルを解きます。

【日 時】①令和8年5月4日(月・祝)、②5月5日(火・祝)  
いずれも午前10時および午後2時30分から1時間程度

【担 当】猪岡叶英(大阪歴史博物館 学芸員)

【会 場】大阪歴史博物館 8階 特集展示室

【定 員】各回先着20名(受付時間:各回の15分前)

【参 加 費】無料(ただし入場には常設展示観覧券が必要です)

【参加方法】直接会場へお越し下さい(※事前申込不要)

### ◆なにわ歴博講座「町工場を支えた人びと—大阪の切子職人の技とこころ—」

【日 時】令和8年6月20日(土)

【講 師】猪岡叶英(大阪歴史博物館 学芸員)

【会 場】大阪歴史博物館 4階 講堂

※詳細は、決まり次第当館ホームページにてお知らせします。

## -----開催概要-----

【名 称】 特集展示「たんけん!となりの町工場」

【主 催】 大阪歴史博物館

【会 期】 令和8年(2026) 4月8日(水)～6月29日(月)

【休 館 日】 火曜日 ※ただし5月5日(火・祝)は開館

【開館時間】 午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

【会 場】 大阪歴史博物館 8階 特集展示室

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

電話 06-6946-5728 ファックス 06-6946-2662

<https://www.osakamushis.jp/>

(最寄駅) Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・⑨号出口

大阪シティバス「馬場町」バス停前

【観 覧 料】 常設展示観覧料でご覧になります。

大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)

※( )内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、

障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

【展示資料数】 約30件

## -----取材について-----

取材をご希望の場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

(連絡先) 大阪歴史博物館 企画広報課 企画広報係

電話 06-6946-5728 ファックス 06-6946-2662